

-----  
[ 成果情報名 ] 晩夏播きに適した飼料麦単播と飼料麦・イタリアンライグラス混播

[ 要約 ] 晩夏播きする場合には、混播ではエンバク「スーパーハヤテ隼」又はライムギ「春一番」とイタリアンライグラス晩生品種「マンモスB」の組み合わせ、単播ではライムギ「春一番」が高い乾物収量を得られる。

[ キーワード ] 晩夏播き、エンバク、ライムギ、イタリアンライグラス、混播

[ 担当部署 ] 畜産環境部・飼料チーム

[ 連絡先 ] 092-925-5177

[ 対象作目 ] 飼料作物      [ 専門項目 ] 品種選定      [ 成果分類 ] 技術改良  
-----

[ 背景・ねらい ]

飼料麦の単播や飼料麦とイタリアンライグラスの混播を行う方法に、8月下旬から9月上旬に播種する晩夏播き栽培がある。この栽培法では、11月下旬から12月に1番草を収穫し、翌年の春に2番草を収穫できるため、主に早播きトウモロコシや早期水稻の後作として普及している。

しかし、晩夏播きした飼料麦は秋の天候により登熟や収量が不安定になりやすく、また、飼料麦には草種や品種も多いため、収量性やイタリアンライグラスとの混播適性等に不明な点が多い。

このため、晩夏播きした飼料麦単播及び飼料麦・イタリアンライグラス混播の収量性を比較検討し、適品種及び混播に適した品種の組み合わせを明らかにする。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1．晩夏播きする場合には、飼料麦とイタリアンライグラス晩生品種の混播が安定して高い乾物収量を得ることが可能で、中でもエンバク「スーパーハヤテ隼」又はライムギ「春一番」とイタリアンライグラス晩生品種「マンモスB」を組み合わせると、1.5t/10a程度の高い乾物収量を得られる（表1）。
- 2．晩夏播きで飼料麦とイタリアンライグラスを混播する場合、利用するイタリアンライグラスは晩生品種「マンモスB」がよく、どの麦品種と組み合わせる場合でも、早生品種「ニオウダチ」よりも乾物収量は高くなる（表1）。
- 3．飼料麦の中でライムギ「春一番」は再生力が強く、単播でも安定して2番草までの収穫が可能であるため、1.5t/10a程度の乾物収量を得られ、イタリアンライグラスと飼料麦の混播と比べても同等の乾物収量である（表1）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1．飼料作物の晩夏播き栽培を行う際に活用できる。
- 2．飼料麦の生育期間は草種により大きく異なるので、後作の栽培時期を考慮して草種を決める必要がある。

[ 具体的データ ]

表1 晩夏播きにおける乾物収量 (平成14～15年)

麦品種		イタリ 品種	1 番草			2 番草			合計
			麦	イタリ	計	麦	イタリ	計	
麦	ニシホ	ニオダチ	423	22	445	113	425	538	982
	+	ミルゴ-ルト	ニオダチ	366	22	388	114	442	556
イタリ	ワト-リ二条	ニオダチ	352	18	370	159	407	566	935
(早生)	クイブキ	ニオダチ	645	5	650	131	259	390	1039
	ス-ハ-ハヤ	ニオダチ	628	5	633	248	307	555	1187
	春一番	ニオダチ	295	21	316	665	77	742	1058
	ライコウ	ニオダチ	380	14	394	51	372	423	817
平均			441	15	456	211	327	538	994
麦	ニシホ	マンモ	424	32	456	134	692	826	1281
	+	ミルゴ-ルト	マンモ	322	51	373	97	943	1040
イタリ	ワト-リ二条	マンモ	411	31	442	94	731	825	1265
(晩生)	クイブキ	マンモ	621	9	630	116	580	696	1326
	ス-ハ-ハヤ	マンモ	588	10	598	289	694	983	1580
	春一番	マンモ	289	57	346	846	266	1112	1458
	ライコウ	マンモ	402	36	438	90	794	884	1321
平均			436	32	468	238	671	909	1377
麦単播	ニシホ	-	509	-	509	321	-	321	830
	ミルゴ-ルト	-	380	-	380	331	-	331	711
	ワト-リ二条	-	430	-	430	400	-	400	830
	クイブキ	-	638	-	638	276	-	276	914
	ス-ハ-ハヤ	-	583	-	583	389	-	389	972
	春一番	-	300	-	300	1171	-	1171	1470
	ライコウ	-	353	-	353	231	-	231	584
平均			456	-	456	445	-	445	901
イタリ	-	サアハ	-	191	191	-	467	467	658
単播	-	シアハ	-	188	188	-	494	494	681
	-	ニオダチ	-	146	146	-	718	718	863
	-	マンモ	-	164	164	-	1108	1108	1272
平均			-	172	172	-	697	697	869

注) 1.播種日: 9月4日、9月5日  
 2.収穫日: 11月12日～12月18日 (1番草)、3月24日～6月3日 (2番草)  
 3.麦単播のクイブキ、ス-ハ-ハヤ、ライコウは1年目は再生したが、2年目は再生せず。

[ その他 ]

研究課題名: 暖地における飼料麦の安定栽培技術開発

予算区分: 国庫受託 (ブランドニホ3系)

研究期間: 平成15年度 (平成13～15年)

研究担当者: 太田 剛、家守紹光、馬場武志、高椋久次郎

発表論文等: 平成13、14年度畜産関係試験成績書